

事務事業マネージメントシート

作成日 令和5 年 05 月 11 日

事務事業名	市内公共交通網構築事業				担当	総合政策部 総合政策課 交通政策係				
政策名	4 「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～				<input type="checkbox"/> 総重（総合計画重点事業）	<input type="checkbox"/> 総新（総合計画新規事業）				
施策名	4 公共交通ネットワークの整備				<input type="checkbox"/> 戰拡（総合戦略拡充事業）	<input type="checkbox"/> 戰新（総合戦略新規事業）				
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律					<input type="checkbox"/> 毎年度実施（開始年度 R3 年度～）				
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	7.企画費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
予算科目										
事業概要	<p>令和3年3月に策定した真岡市地域公共交通計画に基づき、高齢者の増加などの社会情勢やまちづくりの変化に対応するため、市内全域を運行するいちごタクシーや中心市街地を循環するいちごバスに加え、中心市街地と周辺地区を繋ぐ新たな移動手段の導入について検討する。 また、いちごタクシーやいちごバスなどの既存の公共交通の見直しや、スクールバスなどとの異分野連携、地域共助型生活交通の導入も含めた、地域の実情に合った公共交通網の構築を検討する。 ・令和3年度に真岡、山前、大内、中村、二宮の各地区の地域のニーズの把握と意見集約を行い、中心市街地を周辺地区を結ぶ新たなコミュニティバス路線の要望を受け、真岡市地域公共交通活性化協議会において、新たなコミュニティバスの実証実験を行って事業効果を検証することで承認された。 ・令和4年度に、R5.4.24から実証運行を開始することとし、運行準備を行った。</p>									

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）	④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																		
4年度実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>31 年度(実績)</th> <th>2 年度(実績)</th> <th>3 年度(実績)</th> <th>4 年度(実績)</th> <th>5 年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア : 活性化協議会での協議回数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>イ : 新たなコミュニティバス運行日数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)	ア : 活性化協議会での協議回数				3	3	3	イ : 新たなコミュニティバス運行日数				0	0	241	ウ							エ							オ						
名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)																																													
ア : 活性化協議会での協議回数				3	3	3																																													
イ : 新たなコミュニティバス運行日数				0	0	241																																													
ウ																																																			
エ																																																			
オ																																																			
5年度計画																																																			
・令和5年4月24日から実証運行を開始する。 ・実証運行の利用状況や利用者アンケートを分析し、本格運行に向け運行内容を見直す。																																																			
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																		
真岡市民	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>31 年度(実績)</th> <th>2 年度(実績)</th> <th>3 年度(実績)</th> <th>4 年度(実績)</th> <th>5 年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア : 真岡市民</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>78,592</td> <td>77,635</td> <td>77,578</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)	ア : 真岡市民				78,592	77,635	77,578	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)																																													
ア : 真岡市民				78,592	77,635	77,578																																													
イ																																																			
ウ																																																			
エ																																																			
オ																																																			
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																		
公共交通手段がない、特に周辺地域の方の移動手段を確保し、買い物や通院といった日常生活を支えることで、安心して生活できるようにする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>31 年度(実績)</th> <th>2 年度(実績)</th> <th>3 年度(実績)</th> <th>4 年度(実績)</th> <th>5 年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア : 公共交通機関の利用に関する利用者満足度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>32.5</td> <td>33.4</td> <td>37.7</td> </tr> <tr> <td>イ : 新たなコミュニティバス乗客数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>0</td> <td>4,820</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)	ア : 公共交通機関の利用に関する利用者満足度				32.5	33.4	37.7	イ : 新たなコミュニティバス乗客数				-	0	4,820	ウ							エ							オ						
名称	単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)																																													
ア : 公共交通機関の利用に関する利用者満足度				32.5	33.4	37.7																																													
イ : 新たなコミュニティバス乗客数				-	0	4,820																																													
ウ																																																			
エ																																																			
オ																																																			

(2) 総事業費の推移			単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	4,114	6,190	14,286
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	4,114	7,488	26,533
	事業費計 (A)	千円		0	0	8,228	13,678	40,819

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公共交通ネットワークの整備に結び付いている。 また、超高齢社会の進展や運転免許証自主返納者の増加等に対応するために周辺地区と市街地を結ぶバス路線の整備など、新たな交通手段の整備を図ることで、公共交通の利用者の満足度を高めることができる。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公共交通機関は市民生活やまちづくりに不可欠な基盤であり、市が行う業務である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) ・公共交通機関は誰でも利用できることから、利用者全般を想定している。 ・ [↑] 真岡市地域公共交通計画においては、急速に進展する少子高齢化や、運転免許証を自主返納する高齢者の増加による、交通弱者の移動手段の確保対策が必要としており、地域の実情に合った新たな公共交通網の構築は、必要不可欠なものである。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) もおかべりー号の運行内容を実証運行を通じて、運行ルートやダイヤなど改善する余地がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 新たなコミュニティバスの運行を行うための、最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性 (改革案・実行計画)	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 課題、課題の克服の方向性 もおかべりー号の運行ルートやダイヤなどの運行内容を、実証運行を通じて改善する。		

4. 事務事業の2次評価結果 (事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足 (説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	<input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持 (從来通りで特に改革改善をしない)	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		